

EA993LD-202 (低床サービスマシン)取扱説明書

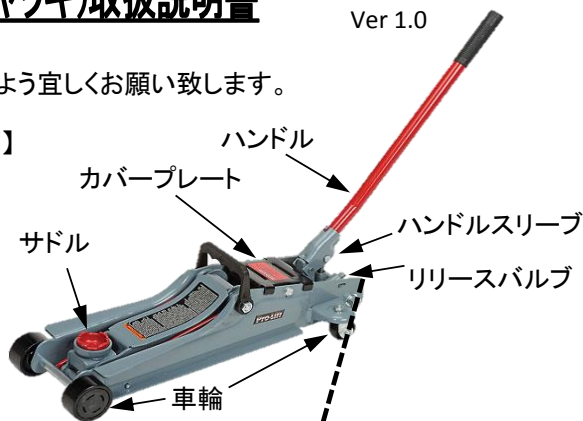
Ver 1.0

この度は当商品をご購入頂き誠に有難うございます。
ご使用に際しましては、取扱説明書をよくお読み頂きますよう宜しくお願い致します。

【仕様】

- 能力…2t
- サドルサイズ…φ48mm
- 揚高…86～381mm
- 重量…13.2kg
- ハンドル長…500mm
- サイズ…565(W)×220(D)×135(H)mm
- 幅…175mm

【各部名称】



【警告】

1. 取扱説明書をよく読み、十分理解された上で使用して下さい。
取扱説明書には重要事項の説明が記載されています。
記載内容に従わずに使用した場合、重大な事故につながります。
2. 能力(2t)以上の負荷で使用しないで下さい。
3. 固い水平な場所で使用して下さい。
4. 当製品はジャッキアップまたは、
ジャッキダウンさせる目的で使用するジャッキです。
ジャッキの上で車輛を 작동したり、ジャッキで移動させないで下さい。
5. ジャッキアップした状態で移動させないで下さい。
6. ジャッキアップ中に車輛の下に頭や体を入れしないで下さい。
7. ジャッキスタンドとして使用しないで下さい。
ジャッキアップをして作業をする場合は安全の為、必ずジャッキスタンドで車輛を支えてから行って下さい。
8. ジャッキダウンの際は手・足を挟まない様に注意して下さい。



【注意】

この商品の塗料の中には鉛や、他の有害物質が含まれていますので、塗料の破片を摂取しないで下さい。
ご使用毎に手を洗って下さい。

【準備】

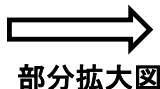
○ ご使用前に

- ① 使用する前に、ジャッキアップする車輛の取扱説明書をよく読み商品をよく理解して下さい。
誤った使用は危険を伴います。
- ② ご使用前に無負荷状態でテストを行って下さい。
 - a. ハンドルの先端(図1参照)をリリースバルブに差し込みます。
その状態でハンドルを時計方向に回すとリリースバルブが締まります。
締め付けが不十分な場合、サドルが上昇しませんので、しっかりと締め付けて下さい。
 - b. ハンドルをハンドルスリーブに差し込みます。ハンドルを上下に動かすとサドルが上昇します。
サドルが途中までしか上昇しない場合はエア抜きが完全にできていない事が考えられます。
もし上昇しない場合はエア抜きを行って下さい。(「○油圧システム内のエア抜き」参照)
 - c. ハンドルをハンドルスリーブから抜き、リリースバルブに差し込みます。
反時計方向に回すとリリースバルブが緩み、サドルが下降します。
ハンドルを急に回すとサドルが急激に降りますので、ゆっくりと回して、1/2回転以上は回さないよう注意して下さい。
- ③ ジャッキオイルを確認して下さい。
カバープレートの両端にあるねじを外し、カバープレートを取り外します。オイルプラグを引き抜いてください。
ジャッキオイルの適正量は、サドルを完全に下げた状態で
オイル注入口から油面まで約10mmの空間を設けた位置です。
もし少ない場合はオイルを補充して下さい。(「○ジャッキオイルの補充及び交換」参照)

図1



カバープレートを外した図



部分拡大図



オイルプラグ

オイル注入口

- ④ 作業前に車輪がスムーズに回るか確認して下さい。
スムーズに回らない場所では使用しないで下さい。

○ 油圧システム内のエア抜き

- ・ リリースバルブを開き、サドルを完全に下げた状態でオイルプラグを引き抜きます。
ハンドルをハンドルスリーブに差し込み、6~8回上下するとオイルタンク内のエアが排出されます。
正常に作動しない時は、2~3回繰り返して行って下さい。

【使用方法】



【注意】

- ・ 車輪のジャッキポイントにサドルを合致させて使用して下さい。
- ・ 荷重がかかっているジャッキの下や付近で作業をしないで下さい。
- ・ ハンドルを使用する前に点検し、異常がないか調べて下さい。
- ・ ジャッキで上げた車輪の下や付近での作業は厳禁です。
- ・ ジャッキアップした状態のまま車輪を移動させたり、衝撃を与えないで下さい。

○ ジャッキアップの方法

- ① 車輪のサイドブレーキを引き、上げないタイヤに車輪止めをして下さい。
- ② リリースバルブを閉じて下さい。ジャッキポイントの位置にサドルをセットして下さい。
- ③ ハンドルをハンドルスリーブに差し込み上下に動かし、サドルをジャッキポイント付近まで上昇させて、荷重の中心がサドルの中央にかかる事を確認して下さい。
- ④ 確認後ハンドルを上下に動かすと、サドルが上昇し車輪をジャッキアップします。
- ⑤ 希望する高さまでジャッキアップした後は適切なジャッキスタンド等で支持して下さい。

○ ジャッキダウンの方法

- ① 車輪を支持しているジャッキスタンドよりも高く、車輪をジャッキアップして下さい。
- ② 車輪を支持していたジャッキスタンドを注意して移動させて下さい。
- ③ ハンドルをリリースバルブに差し込みリリースバルブを緩めて下さい。
1/2回転以上は回さないよう注意して下さい。
降下の速度はハンドルを回す加減によって調整、操作されます。注意してゆっくり下げて下さい。

【メンテナンス方法】

○ ジャッキオイルの補充及び交換



【注意】

- ・ オイルは高品質なものを使用して下さい。
エンジンオイルやその他のオイルは粘度等が異なるため作動不良の原因となります。
絶対に使用しないで下さい。
- ・ オイルはMobil DTE13M又は同等品を推奨します。
- ・ オイルを入れ過ぎないで下さい。入れ過ぎると性能の問題が生じ、オイルが床に漏れます。
- ・ オイルは適正に処理して下さい。

・ オイルの追加

- ① ジャッキを水平な場所に置き、サドルを完全に下げてオイルプラグを引き抜いて下さい。
- ② ジャッキオイルの適正量は、サドルを完全に下げた状態で
オイル注入口から油面まで約10mmの空間を設けた位置です。
油圧用オイルを少量ずつオイル注入口に注入して下さい。
- ③ 作業が終了したら、オイルプラグを元の状態に戻して下さい。

・ オイルの交換

- ※ 長く使用する為に、1年に1回交換して下さい。
- ① ジャッキを水平な場所に置き、サドルを完全に下げてオイルプラグを引き抜いて下さい。
 - ② ジャッキを逆さまにして、古いオイルを完全に排出して下さい。
 - ③ オイル注入口から油面まで約10mm程度になる様に油圧用オイルを少量ずつ注入して下さい。
 - ④ 作業が終了したら、オイルプラグを元の状態に戻して下さい。

○ 注油

- ・ 可動部、ヒンジ、キャスター軸等に定期的にオイルを塗布して下さい。

○ クリーニング

- ・ 付着した泥、オイル、グリス、水滴などをシリコンクロスで綺麗に拭き取って下さい。

○ 保管

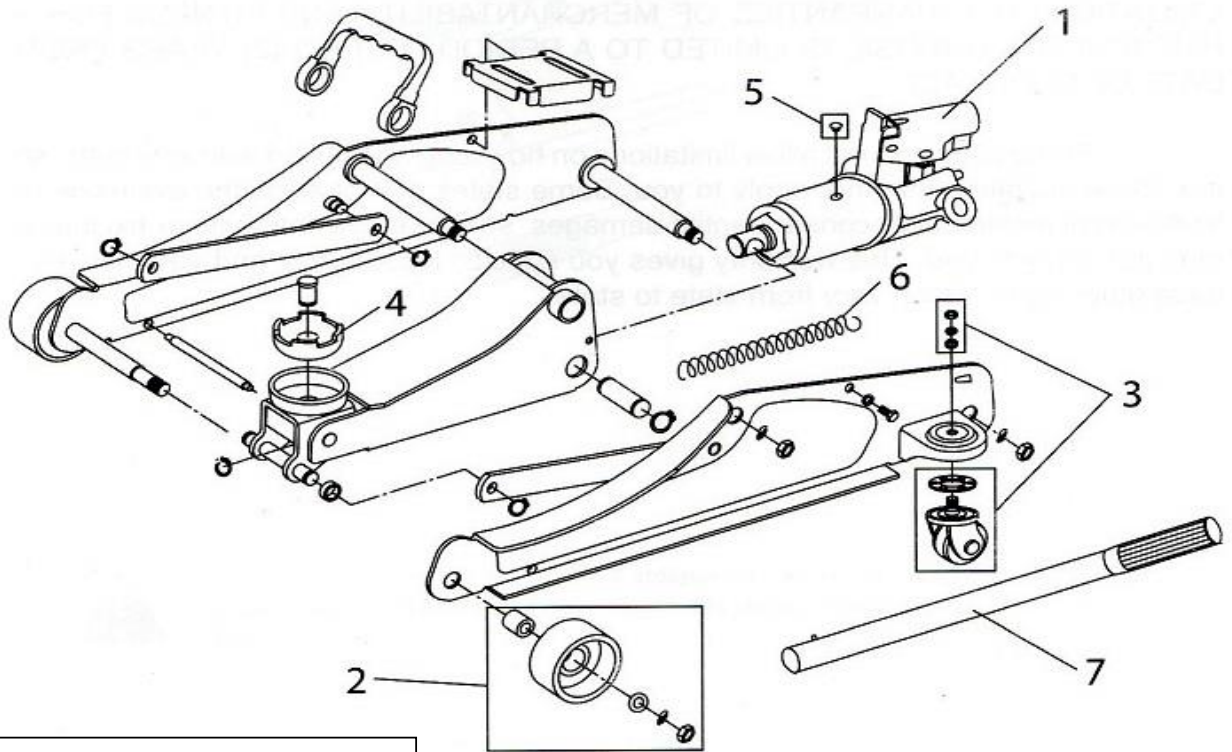
- ・ 保管の際は、サドルを下げて水平な場所に保管して下さい。


【トラブルシューティング】

状況	原因	解決方法
・車両が上がらない。	・リリースバルブが完全に締まっていない。 ・過負荷状態である。	・リリースバルブをしっかりと締める。 ・耐荷重の大きいジャッキを選ぶ。
・車両が上がった後に下がる。	・油圧ユニットの故障。	・使用を中止し、修理を受ける。
・下げている途中オイルが漏れる。サドルが降下しない。	・オイルの入れ過ぎ。 ・ラム プランジャー/シリンダーの変形。	・適切なオイルレベル迄オイルを排出する。 ・修理を受ける。
・車両を解放してもサドルは低位置に留らない。(徐々に上がる)	・油圧システム内に空気が入っている。	・“○油圧システム内のエア抜き”参照。
・能力が不足している。	・油圧タンクのオイルが少ない。 ・油圧システム内に空気が入っている。 ・油圧ユニットの故障。	・“○ジャッキオイルの補充及び交換”参照。 ・“○油圧システム内のエア抜き”参照。 ・修理を受ける。
・既定の高さまで上がらない。	・オイルが少ない。	・“○ジャッキオイルの補充及び交換”参照。

【部品図】

Item	Description	Quantity
1	Power Unit	1
2	Front Wheel Assembly	2
3	Rear Caster Assembly	2
4	Saddle	1
5	Oil	1
6	Return Spring	1
7	Plug Handle	1
--	Labels	2
--	Owner's Manual	1




 改造はしないでください。
 ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
 ・ご使用者が怪我をする場合があります。
 ・作業工程に支障を来たす場合があります。